

有限会社長崎水産運輸

労働者数：約30人 主な荷：魚介類、印刷物

1 事業紹介

事業場名 有限会社長崎水産運輸

設立 昭和50年10月20日

資本金 500万円

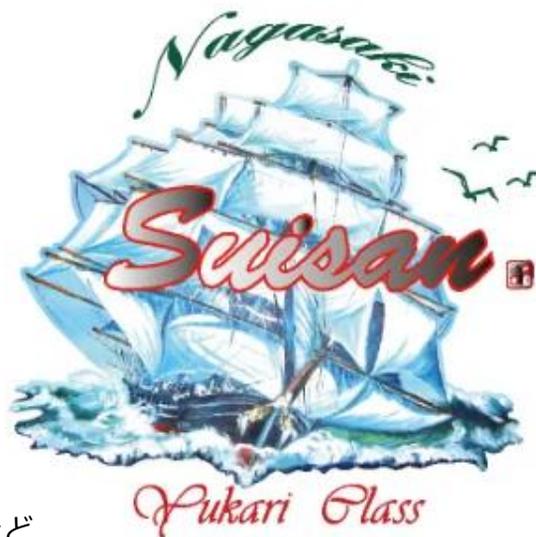
本社所在地 長崎県長崎市京泊3丁目15番6号

グループ会社 1社

従業員数 単体 28名

グループ 35名

荷主企業 手島梱包輸送株式会社（所在地 東京）など



【事業概要】

長崎魚市でその日に水揚げされた水産物（アジ、イワシなど）を東京（豊洲市場）まで輸送しており、復路では九州各地へ配送するための出版物の運送を行っている。

環境保護対策として、アイドリングストップ運転の実施、全車両低公害車を完備、CO2削減に努めており、同社の企業理念として「環境への配慮を忘れず、地域と共存共栄を目指す」。

2 2024年問題にかかる課題

●トラックドライバーの残業時間の削減

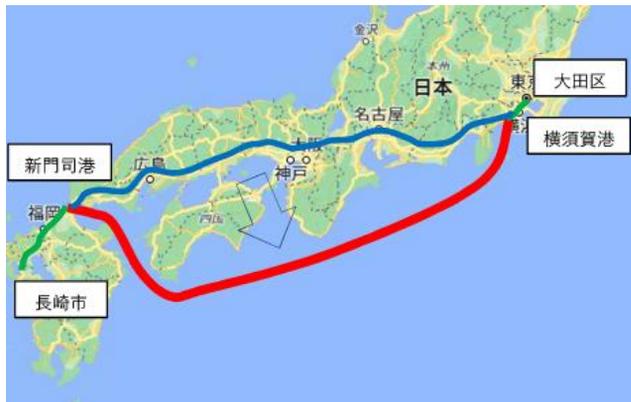
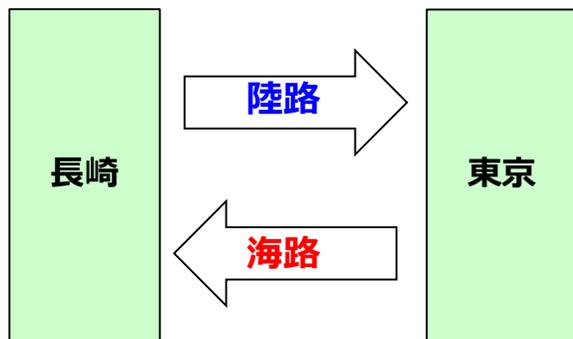
トラックドライバーに対する労働時間の規制が適用されるにあたり、当該規制に対応するため、残業時間の削減を検討する必要がある。

●ドライバーの拘束時間の削減、休息期間の確保

トラックドライバーに対する改善基準告示の改正により、拘束時間の短縮、休息期間の増長に対応する方法を検討する必要がある。

有限会社長崎水産運輸の取り組み内容

◆ 運送形態（モーダルシフト）



※図は国土交通省HP公表資料より引用

1 輸送経路の一部でフェリーを利用（モーダルシフト）

長崎と関東地方間の長距離輸送において、関東地方からの復路（横須賀港から門司港）で印刷物を輸送する際、東京九州フェリーを利用することで、ドライバーの拘束時間を縮減。

また、当該フェリー内には、就寝用ベッド、レストラン、風呂等の宿泊施設が充実しているため、従来のトラック内での車中泊と比較してドライバーの身体的、精神的負担を軽減。

従来の陸上輸送	モーダルシフト後
①トラックの走行距離 長崎⇄豊洲 トラック走行距離 約2,400km	①トラックの走行距離 <往路> 長崎⇒豊洲 約1,200km <復路> ・豊洲⇒横須賀 約70km ・横須賀⇒門司 フェリー ・門司⇒長崎 約230km トラック走行距離 約1,500km
②運転手の拘束時間（1往復） 約33時間	②運転手の拘束時間（1往復） 約20時間 1か月（5往復）での削減時間 約65時間

2 環境負荷の低減

輸送経路の一部でフェリーを利用することによるCO2排出量の削減により、環境負荷低減にも貢献し、国土交通省が行う令和5年度「エコシップ・モーダルシフト事業優良事業者」（全国43社）海事局長表彰を受賞（令和6年5月に表彰）。

CO2排出量を2,544トン／年⇒1,994トン／年に削減（CO2削減率21.6％）



(参考)

3 荷主（東京⇒長崎）側の取組協力

荷主企業（手島梱包輸送（株））が各出版メーカーと荷（印刷物）の集荷時間及び到着時間を調整。到着時間に関しては、1日遅らせる体制を整え、海上輸送への切り替えに繋がった。今後も荷主としてもモーダルシフトの比率を高める為に海上輸送を推進。また、モーダルシフトにあたり、運送事業者からの要望に応じて運賃の改定も実施。

今後の課題や要望

<トラック事業者の課題・要望>

- ・トラックドライバーの賃上げのための助成
- ・輸送のためのコスト助成

<荷主企業の課題>

- ・トラック事業者からの運賃交渉においては、要望される額の支払いを行っているが、最上位の荷主にかかる価格転嫁が不十分（現状要望する額の1/2程度）